



活躍できる場が多いのが魅力。
日々新しい知識や経験が積める職場です。

栄養士 令和 4年度～ 庄学校給食共同調理場
令和 6年度～ 生活衛生課

林田 郷子 (はやしだ きょうこ)

倉敷市役所に入庁した理由を教えてください。

保健所、病院、学校等、配属先が幅広く、管理栄養士として活躍できる場が多いことに魅力を感じ、倉敷市に入庁しました。実際に、入庁1、2年目は学校栄養士として調理場、3年目は食品衛生監視員として保健所に所属しており、日々新しい知識や経験を積める環境で働くことができている。また、美観地区の景観が美しく、海や川などの自然豊かな環境で育った美味しい食べ物が多いのも、倉敷市を選んだ理由の一つです。

現在の所属の業務内容と担当業務について教えてください。

現在、倉敷市保健所生活衛生課に所属しています。市内の食品営業施設に対して、定期立入りし衛生管理の指導をしたり、講習会で衛生教育の普及活動を実施したりしています。窓口や電話対応では、食品営業施設の製造基準の説明や図面の相談等も受け付けています。食中毒発生時には、原因究明や調査を行い、被害拡大防止のため迅速に対応します。



倉敷市職員としてのやりがいを教えてください。

学校給食調理場では、小・中学校の先生や児童生徒から「美味しい給食ごちそうさま」「今日の〇〇美味しかったよ～」等と声をかけてもらえることが非常に嬉しかったです。生活衛生課では、立入りした施設で助言したことを実施していただき、衛生管理の向上が図れた際には、お伝えして良かったと感じます。市民の皆さんに少しでも貢献できていると感じたときが、一番やりがいを感じる瞬間です。

人事異動を経験してみてどう感じましたか？

入庁して初めての人事異動は、引継ぎ作業が大変でしたが、異動先では、新たな経験ができることが非常に新鮮で、少しずつできる仕事が増えていくことにやりがいを感じました。周りの先輩方は、仕事を一つひとつ教えてくださいましたので、安心して業務を覚えることができました。新しいことを覚えることは大変ですが、環境の変化は自分自身を成長させてくれる大きなチャンスだと思います。

前所属の担当業務について教えてください。

学校栄養士として、庄学校給食共同調理場に所属していました。小・中学校合わせて約1400食の給食の栄養管理、アレルギー対応、食育に関わる掲示や授業等を行っていました。毎日温かい学校給食を食べることができるのも楽しみの一つでした。実際の調理現場で大量調理の難しさや衛生管理の大切さを学んだ経験が、今の仕事にも役立っていると実感しています。

就職活動中の皆さんにメッセージをお願いします。

管理栄養士は、働く場所が多岐にわたるため、どこで働くか迷っている方もおられると思います。私も就職活動をしていたときは、非常に迷っていました。実際に入庁してみて、管理栄養士として幅広い活躍ができる倉敷市を選んで本当に良かったと感じています。ここでは伝えきれないこともたくさんありますので、少しでも気になったら、お話を聞きに来ていただければと思います♪